

Maemite

マエミテ

FCW-L1

取扱説明書

12V車専用



このたびは、ユピテルの製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

⚠ 注意

- 本機は、運転者の危険な行為や不注意に起因する事故の回避や安全を保障するものではありません。日頃から安全運転をお心掛けください。

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	FCW-L1		
S/No.			
お買い上げ日	年 月 日		
保証期間	お買い上げの日から1年		
お修理して住所	様		
販売店	TEL ()		

<無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
 - 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機体本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
 - ご転居ご警告品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
 - 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、盗害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - 故障の原因が本製品以外にある場合
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

--

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

株式会社ユピテル

〒108-0075 東京都港区港南1-6-31

6SS1953-A

確認とご注意

安全上のご注意 …………… 3

使用上のご注意 …………… 8

基礎知識

各部の名称と働き …………… 10

1. 付属品 …………… 11
2. 別売品 …………… 11
3. 付属品・別売品の追加購入について …………… 11

機能について …………… 12

1. 衝突警告 …………… 13
2. スタートインフォメーション… 14
3. 接近し過ぎ警告 …………… 15

モード変更について …… 16

通信状態の表示について… 17

LED 表示一覧 …………… 17

警報音一覧 …………… 18

メンテナンスについて … 19

初期値について …………… 19

すぐに使う

本機の取り付け …………… 20

1. 本機を取り付ける …………… 21
2. 電源を接続する …………… 24

電源 ON ~ OFF までの手順… 25

1. 電源 ON する …………… 25
2. ガラス補正をする …………… 26
3. 検出確認をする …………… 27
4. 電源 OFF する …………… 28

カスタマイズして使う

設定を変更する …………… 29

1. 警報音を変更する …………… 29
2. 音量を変更する …………… 29
3. 検出感度を変更する …………… 30

設定項目一覧 …………… 31

その他

エラー表示一覧 …………… 32

故障かな?と思ったら … 32

仕様 …………… 34

アフターサービス …………… 35

保証書 …………… 裏表紙

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。

⚠ 警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

⚠ 注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

! 必ず実行していただく「強制」内容です。

⊘ してはいけない「禁止」内容です。

! 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

➡ 関連するページを示します。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

! 異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

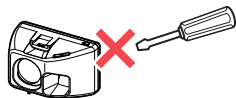
➡ P.35「アフターサービス」

! 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

! 持病をお持ちの方や妊娠の可能性のある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。

- ⊖ サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- ⊖ 本機を次のような場所に保管しないでください。

変色したり、変形したり、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- ⊖ 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



- ⊖ 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

- ⊖ 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⚠ 注意

- ⊖ 結露したまま使い続けないでください。

故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

- ⊖ 落としたり、強いショックを与えないでください。

破損、故障の原因となります。

- ⊖ 極端な高温、低温は避け、動作温度範囲 0℃ ~ +60℃ でご使用ください。

- ⊖ 濡れた手で操作しないでください。

感電の原因となります。



- ⊖ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。

故障の原因となります。

- ⚠ 本機は精密機械です。

静電気 / 電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

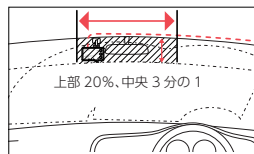
- ⚠ エンジン ON 時、本機から 10cm 以内の距離で、拡大鏡、対物レンズなど拡大機能がある光学機器を使用して、レーザー光投影部をのぞきこまないでください。

本機から照射される赤外線が目を傷める恐れがあります。

● 取り付けについて

⚠ 警告

- ⚠ 取り付けは、フロントガラスの上部 20% の範囲内の中央 3 分の 1 に取り付けてください。

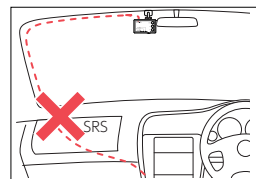


- ⚠ 取り付けは、運転や視野の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

- ⊖ エアバックの近くに取り付けたり、配線をしないでください。

万一のとき動作したエアバックで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となり、エアバックが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注意

- ⚠ 取り付けは確実に行ってください。また定期的な点検を行ってください。

本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

- ⚠ 突起部分などにご注意ください。

取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

● 電源コードについて

⚠ 警告

- ❗ 電源コードは確実に差し込んでください。

接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ シガーライターソケットは単独で使ってください。

タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電の原因となります。

- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常加熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格ものと交換してください。



交換ヒューズ 1A
(6.5mm×30mm)

⚠ 注意

- ❗ エンジンを止めてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。

- ❗ シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。

接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

- ❗ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。

故障や感電の原因となります。



● 本機の操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

- ❗ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

- ❗ 運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

- ❗ 海外ではご使用にならないでください。

本機は日本国内仕様です。

● 本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ❗ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



- ❗ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ❗ レンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などで拭くとキズの原因となります。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけてください。
 - 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。
- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。

シガープラグコードに関する注意

- ・ シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・ シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ（1A）と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。
- ・ 一部のアイドリングストップ車で、アイドリングストップ後のエンジン再始動時にシガーソケットなどへの供給電圧が低下することがあるため、本体の電源が落ちる場合があります。

他社製品との組み合わせに関する注意

- ・ 他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保証することができません。あらかじめご了承ください。

■ 取り扱いに関する注意

- ・ 本機は、赤外線パルスレーザー光を前方に照射し、先行車両リフレクターから戻ってきた反射光の遅延時間より車間距離を測定します。（レーザーレーダー方式）その距離の時間経緯から各種危険性を判断し、警報音とLEDでお知らせする装置です。運転者の危険な行為や不注意に起因する事故の回避や安全を保証するものではありません。
- ・ 普通フロントガラス車両での本機の最大検出距離は、30mです。また1.5m以内の測定はできません。（車庫入れなど近距離の障害物センサーとしては使用できません）
- ・ 取り付ける車両（フロントガラス）によっては、測定距離が低下します。UV（紫外線）カットガラス、熱線（赤外線）吸収ガラスなどの特殊ガラスは、ふつうガラスに比べ、測定距離は2分の1程度に低下します。
- ・ 先行車両の形状や汚れ具合によって、測定できる距離が低下します。
- ・ フロントガラスの汚れや結露により、測定できる距離が低下します。
- ・ 降雨、霧、雪などの気象条件、またはカーブしている道路では、通常に比べて測定できる距離が低下します。
- ・ ワンボックスカーなど車高の高い車種では、近距離の検出がしにくくなりますので特に注意してください。
- ・ 人や自転車、オートバイなどは測定できません。
- ・ 前方の車両が車幅近くにある場合は測定できません。
- ・ ガードレールや道路のリフレクターなどを検出した場合でも、警報音とLEDでお知らせする場合があります。
- ・ 本機は精密電子機器ですから、分解や改造は絶対にしないでください。
- ・ 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

■ 取り付けに関する注意

- ・ 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路交通法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- ・ 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- ・ 本機の周囲に他の物を配置しないでください。正常に動作しない場合があります。
- ・ テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・ 本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 保証に関する注意

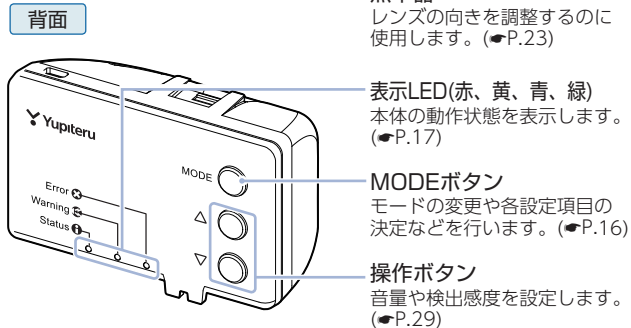
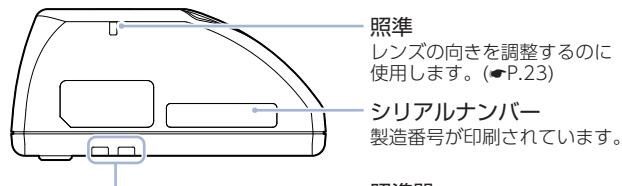
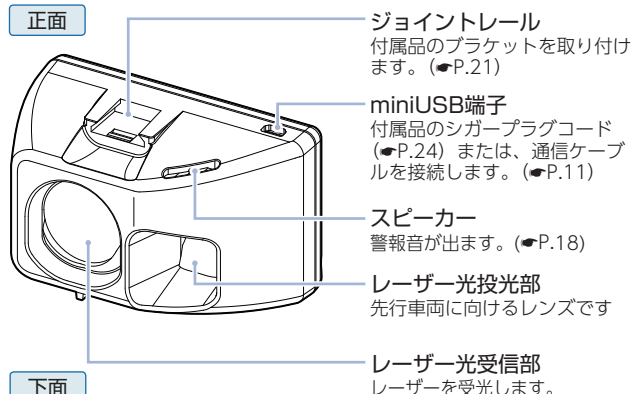
- ・ 本製品にはお買い上げ日から1年間の保証がついています。（ただし、シガープラグコードや通信ケーブルなどの付属品ならびに、消耗品は保証の対象となりません。）

クラス1Mレーザー製品

本機は、日本工業規格JIS C6802「レーザー製品の放射安全基準」におけるレーザー等級1M製品です。

各部の名称と働き

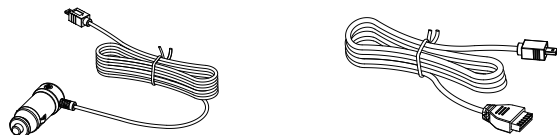
■ 本体



1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- ブラケット …………… 1
 - シガープラグコード (約4m) …………… 1
 - 通信ケーブル※¹ (約4m) …………… 1
- ※ 別売品オプションアダプター(OP-ADP20)接続用。



- 取扱説明書・保証書(本書) …………… 1

※ 1: 別売品オプションアダプター(OP-ADP20)を接続しない場合は、付属品の通信ケーブルは本体に接続しないでください。

2. 別売品

- オプションアダプター
OP-ADP20 / 本体 14,500円+税

本体……………	1
シガープラグコード (約1.5m)……………	1
両面テープ……………	1
タイラップ……………	2

本機と弊社製品を接続するためのアダプター装置です。接続先に警報を表示してお知らせすることができます。

※ 対象機種については、弊社ホームページにてご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

3. 付属品・別売品の追加購入について

- ・ 付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用 ○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・ 弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

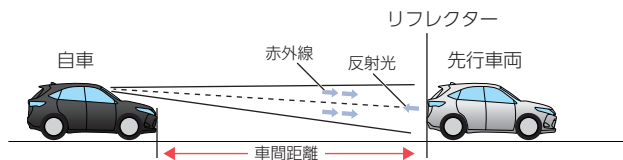
機能について

本機はフロントガラス上部に設置し、赤外線パルスレーザー光を前方に照射し、先行車両リフレクターから戻ってきた反射光の遅延時間より車間距離を測定します。(レーザーレーダー方式)

その距離の時間経緯から各種危険性を判断し、警報音(● P.18)とLED(● P.17)でお知らせする装置です。

※ 警報音とLEDによるお知らせのみで、自車の動作やハンドル操作しません。

■ 仕組みとメカニズム



- | | | | |
|--|----------------------------------|----------------------------------|---|
| ①計測
赤外線パルスレーザー光を照射し、先行車両のリフレクター(反射板)またはボディで反射された光を、キャッチします。 | ②分析
距離算出回路で、先行車両との車間距離を算出します。 | ③判定
先行車両との相対速度(※1)を算出し、判定します。 | ④通報
警報音(● P.18)とLED(● P.17)でお知らせします。 |
|--|----------------------------------|----------------------------------|---|

※1: 先行車両に近づく速度(自車の速度ではなく先行車両との速度差)

⚠ 注意

- 本機の機能を過信しないでください。あらゆる走行状況を判断してお知らせすることはできません。運転者の前方不注意や視界不良での運転動作を補助することはできません。
- 運転時は、先行車両との距離や周囲の状況、運転環境に注意し、常に安全運転を心がけてください。

- 先行車両の検出には、先行車両後部のリフレクター(反射板)を利用していますが、このリフレクターの位置や大きさ、汚れ具合によっては検出感度が低下することがあります。本機の設置向きが適切でない場合も検出できない場合があります。
- 降雨量にかかわらず、ワイパーを使用している場合は検出できない場合があります。

1. 衝突警告

走行中に停止している先行車両と接近した場合、衝突予告と衝突警告の2段階でお知らせします。

- ※ 低速域ではお知らせしません。
- ※ 衝突の回避を保証するものではありません。
- ※ 運転状況によっては、2段階でお知らせできない場合があります。
- ※ 警報音の詳細は ● P.18「警報音一覧」を参照ください。
- ※ Error ☹ のLEDが点滅時、本機は正常に動作しません。詳細は ● P.32「エラー表示一覧」を参照ください。

- ・ 衝突予告: 先行車両と自車が数秒後に衝突する



警報音とLEDでお知らせ

LEDの状態	
Status Ⓡ	緑点灯
Warning ⚠	赤点滅(低速)
Error ☹	—

- ・ 衝突警告: 衝突予告からさらに近づく



警報音とLEDでお知らせ

LEDの状態	
Status Ⓡ	緑点灯
Warning ⚠	赤点滅(高速)
Error ☹	—

※ 1: 初期値(警報音:「音声1」)の場合

■こんな場合は検出できないことがあります。

- 本体が高温状態のとき。
- 大雨、濃霧および吹雪などの悪天候のときや、先行車両の廃棄ガスや水、雪などの巻上げ、砂、煙などで前方の視界が悪いとき。
- フロントガラスが汚れているときやフロントウォッシャーを使用中のとき。
- 降雨時にワイパーを使用していないとき。

■こんな場合にも検出することがあります。

- 二輪車および歩行者を検出したとき。
- 路面上の金属物、段差、落下物または突起物があるとき。
- 進行方向に ETC ゲートや駐車上のバー、遮断機、看板などがあるとき。
- カーブ入口のガードレールや看板などの路側物があるとき。また、直線でレーダー検出範囲の近くにあるとき。
- レーダーの検出範囲内で、他車が急な割込みや車線変更をしてきたとき。
- カーブで対向車とすれ違うとき。
- ピニールカーテンなどをくぐって通過するとき。
- 搭載したルーフキャリアやスキー板などの長尺物がレーダー検出範囲内にあるとき。
- 生い茂った草むらなどの悪路を走行するとき。

2. スタートインフォメーション

信号待ちなどで停止している状態で、先行車両が発進しても自車が止まったままの場合、予告と警告の2段階でお知らせします。

- ※ 停車時間が約5秒以内では、お知らせしません。
- ※ 運転状況によっては、2段階でお知らせできない場合があります。
- ※ 警報音の詳細は ● P.18「警報音一覧」を参照ください。
- ※ Error ☹ のLEDが点滅時、本機は正常に動作しません。詳細は ● P.32「エラー表示一覧」を参照ください。

- 信号待ちなどで、先行車両のうしろで自車が約5秒以上停止した状態



↓

• 予告：先行車両が発進し自車が停止した状態

青信号

ヒ○*1

警報音とLEDでお知らせ	
LEDの状態	
Status ①	緑点灯
Warning ☹	青点滅(低速)
Error ☹	—

↓

• 警告：予告後も自車が停止した状態

青信号

先行車発進*1

警報音とLEDでお知らせ	
LEDの状態	
Status ①	緑点灯
Warning ☹	青点滅(高速)
Error ☹	—

※ 1：初期値（警報音：「音声1」）の場合

3. 接近し過ぎ警告（※別売品との接続が必要です）

走行中に先行車両と十分な車間距離をとっておらず、先行車両が急な減速などした場合にお知らせします。

- ※ 低速域ではお知らせしません。
- ※ 衝突の回避を保証するものではありません。
- ※ 別売品オプションアダプター（OP-ADP20）と OBD II アダプター接続時に警告します。対象機種については、弊社ホームページにてご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>
- ※ OBD II アダプターの適合車種については、店頭または弊社ホームページの OBD II アダプター適合表にて、ご確認ください。

- 接近し過ぎ警告：先行車両と近づきすぎた状態

先行車両

車間注意してください*1

自車

警報音とLEDでお知らせ	
LEDの状態	
Status ①	緑点灯
Warning ☹	黄点滅(高速)
Error ☹	—

※ 1：初期値（警報音：「音声1」）の場合

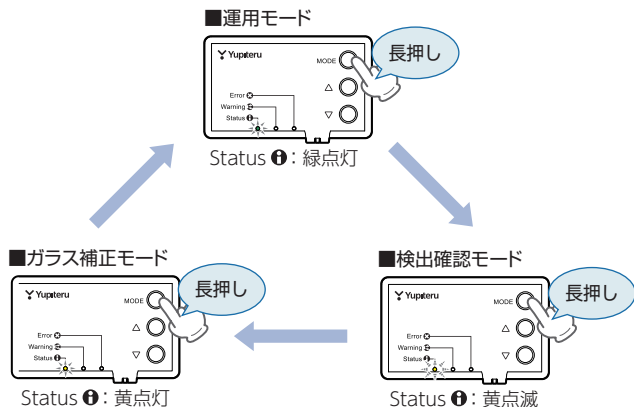
モード変更について

本機は、各種危険性をお知らせする「運用モード」、本機が正常に動作しているか確認する「検出確認モード」、フロントガラスからの反射による近距離の測定誤差を防止する「ガラス補正モード」があります。

MODE ボタンを長押しするたびにモードが、「運用モード」→「検出確認モード」→「ガラス補正モード」に切り替わります。

※「運用モード」のみ各種危険性をお知らせすることができます。

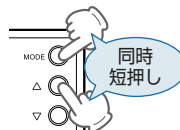
※「検出確認モード」「ガラス補正モード」時に、無操作で約3分間経過した場合、自動的に「運用モード」に切り替わります。



通信状態の表示について

別売品オプションアダプター (OP-ADP20) と OBD II アダプターを本体に接続した場合に通信状態を確認することができます。

「運用モード」で MODE ボタンと▲ボタンを同時に短押しすることで約10秒間、Warning ②と Status ①のLEDを表示します。



※約10秒間表示します。

状態	Warning ②	Status ①
OBD II 通信あり	青点滅 (低速)	青点灯
OBD II 通信なし	赤点滅 (低速)	

LED 表示一覧

※ Error ③の詳細は、P.32「エラー表示一覧」を参照ください。



■運用モード

状態	Warning ②	Status ①
衝突予告	赤点滅 (低速)	緑点灯
衝突警告	赤点滅 (高速)	
スタートインフォメーション (予告)	青点滅 (低速)	
スタートインフォメーション (警告)	青点滅 (高速)	
接近し過ぎ警告 ^{*1}	黄点滅 (高速)	
音量変更	黄点灯 (1秒)	
検出感度変更	青点灯 (1秒) ^{*2}	
警報音変更 (音声)	緑点灯 (1秒)	



※1: 別売品オプションアダプター (OP-ADP20) と OBD II アダプター接続時に警告します。対象機種については、弊社ホームページにてご確認ください。 <http://www.yupiteru.co.jp/>

※2: 検出感度が「OFF」の場合、Warning ②のLEDは「青点灯」になります。17

■ 検出確認モード

状態	Warning 	Status 
検出時	緑点灯	黄点滅(低速)
非検出時	青点灯	
音量変更	黄点灯(1秒)	

■ ガラス補正モード

状態	Warning 	Status 
実行中	緑点灯	黄点灯
完了(成功)	青点灯	
未実行/完了(失敗)	赤点灯(ガラス補正が完了していない)	

警報音一覧

状態	音声1(初期値)	音声2	ブザー音
衝突予告	ピロピロ	わっ	ピロピロ
衝突警告	危ない	あぶない	ピピピピピー
スタートインフォメーション(予告)	ピロ	ピロ	ピロ
スタートインフォメーション(警告)	先行車発進	行っけー	ピロピロピロー
接近し過ぎ警告 ^{※1}	車間注意してください	接近し過ぎ	ピーピーピー

※1: 別売品オプションアダプター(OP-ADP20)とOBDⅡアダプター接続時に警告します。対象機種については、弊社ホームページにてご確認ください。<http://www.yupiteru.co.jp/>

メンテナンスについて

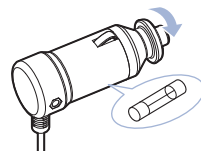
■ 必要に応じてメンテナンス

・ヒューズの交換

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない場合は、シガープラグコードのヒューズ(1A)が切れている可能性があります。

- ① シガープラグコードが奥まで差し込まれていることを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、シガープラグ内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

シガープラグの先端を、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す
ヒューズを交換したあとは、シガープラグの先端を図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める



交換用ヒューズ 1A
(6.5mm × 30mm)

初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説明
警報音	音声1	各種危険性を「音声1」でお知らせします。
音量	中	警報音や操作音の音量を「中」に設定しています。
検出感度	中	各種危険性を検出するタイミングを「中」に設定しています。

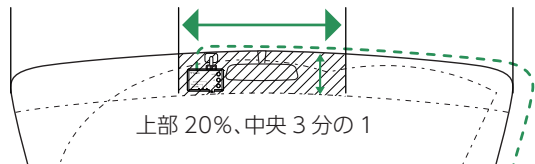
※ 初期値を変更する場合は、●P.29~31「カスタマイズして使う」を参照ください。

本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、2人以上で本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

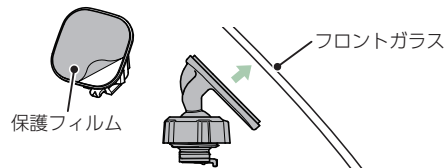
- ・フロントガラスの上部20%の範囲内の中央3分の1に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。動作に影響を受ける可能性があります。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- ・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。
- ・フロントガラスが赤外線カット仕様の車両では、本機は使用できない場合があります。



1. 本機を取り付ける

あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

1-1 ブラケットの両面テープから保護フィルムをはがして、フロントガラスに取り付ける



ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

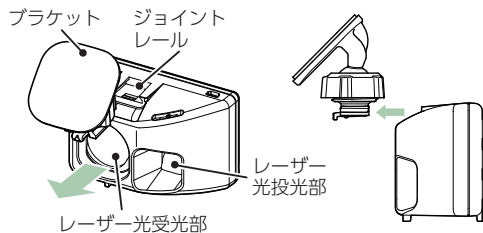
※ 固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置してください。

※ 貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着力が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

1-2 ブラケットを本体のジョイントレールに 合わせ、矢印の方向にスライドさせて、 本体をブラケットに装着する



- ※ レーザー光投射部と光受光部のレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、正常に動作できなくなる恐れがあります。
- ※ 奥までスライドさせ、軽く本体を引っ張り、本体が外れないことを確認してください。走行中に落下する恐れがあります。

1-3 車両を移動する

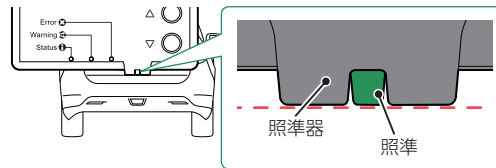


約 20 m先の水平な場所にある駐車車両を的にし、
自転車が真正面となるように向きを合わせください。

- ※ 1人が的の位置に立ち、自転車が真正面になっているか確認しながら2人以上で行ってください。

車両の向きがズレた状態で本体の向きを調整した場合、正常に動作できないことがあります。1人で車両を移動する場合は移動後、車両から降り、的の位置から見て自車が真正面になっているか必ず確認してください。

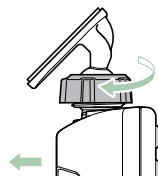
1-4 本体の向きを調整する



照準器と照準を的にしている車両の後部中心に
合わせ本体の向きを調整してください。

- ※ 照準器と照準の下部が水平で、照準が照準器の真ん中になるようにしてください。

1-5 ナットを締めて固定する



- ※ ナットを締めるときに、本体の向きがズレないようにしてください。
- ※ 確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。
- ※ ナットを締めた後は本体を調整しないでください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。ナットを緩めてから調整してください。
- ※ ナットを緩める場合は、本体を回さずにナットを緩めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。

■取り外し方法

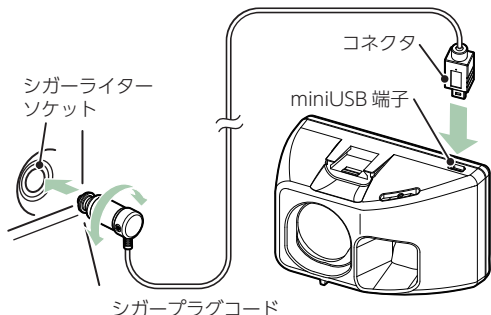
- ①ロック解除レバーを持ち上げる
- ②本体を矢印の方向へスライドさせる



2. 電源を接続する

※ 付属品の通信ケーブルで接続する場合は、接続先の取扱説明書をご確認ください。

2-1 シガープラグコードを接続する



付属品のシガープラグコードを本体のminiUSB端子と車両のシガーライターソケットに差し込みます。

- ※ シガープラグコードのコネクタを本体に接続時、本体の向きがズレないようにしてください。
- ※ 付属品のシガープラグコードをご使用ください。
- ※ シガープラグコードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

電源 ON ~ OFF までの手順

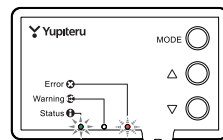
ご購入後、初期値のまま使う場合、下記の手順に沿って操作を行います。



1. 電源 ON する

本機は、エンジンに連動して電源 ON します。

1-1 車両のエンジンを始動する



- ・運用モードのLED表示の詳細は…
- P.17「運用モード」

運用モードになります。

初めて使用するなど、ガラス補正が完了していない場合に Status ① のLEDが「緑点灯」と Error ② のLEDが「赤点滅(高速)」になります。ガラス補正後は Error ② のLED「赤点滅(高速)」は表示しません。

- ※ ガラス補正完了後に電源ONした場合、センサースタンバイ完了(Error ② のLEDが「青点灯」→「消灯」)するまで各種危険性はお知らせしません。
- ※ 電源ON時、前方に障害物(建物の壁や車両など)がある場合、センサースタンバイが完了しないことがあります。そのような場合は、障害物がない場所へ車両を移動させるとセンサースタンバイが完了します。

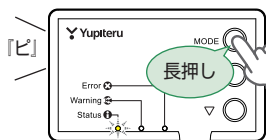
2. ガラス補正をする

本機は、フロントガラスからの反射による近距離の測定誤差を防止するため、自動補正を行います。初めて取り付けの場合や取り付け位置を変更した場合には、必ず行ってください。

2-1 車両を移動する

前方に障害物がない場所に移動してください。

2-2 MODE ボタンを長押しする

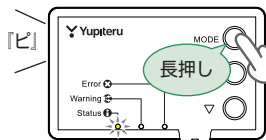


・検出確認モードのLED表示の詳細は…
● P.18「検出確認モード」

検出確認モードになります。

Status ● のLEDが「緑点灯」→「黄点滅」になります。

2-3 MODE ボタンを長押しする

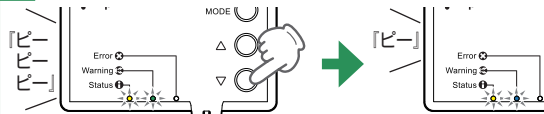


・ガラス補正モードのLED表示の詳細は…
● P.18「ガラス補正モード」

ガラス補正モードになります。

Status ● のLEDが「黄点滅」→「黄点灯」になります。ガラス補正モード中は『ピロロ』とブザー音が鳴り続けます。

2-4 ▽ボタンを短押しする



ガラス補正を実行します。

Warning ● のLEDが「緑点灯」→「青点灯」→「消灯」になりガラス補正は完了し、自動的に運用モードになります。

※ Warning ● のLEDが「緑点灯」→「赤点灯」の場合は、ガラス補正ができていません。再度、手順「2-1」から行ってください。

※ ガラス補正をキャンセルする場合は、MODE ボタンを長押ししてください。運用モードになります。(● P.16)

※ ガラス補正実行中は、内部メモリのデータを書き換えているため絶対に電源 OFF しないでください。

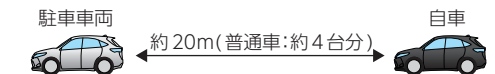
3. 検出確認をする

先行車両を検出しているかを確認する場合に使用してください。

※ 本機の車間距離検出可能範囲は、1.5m～最大30mです。最大検出範囲は、取り付ける車両や先行車両の形状やリフレクター取り付け位置や大きさ、状態、また気象条件などにより変化します。

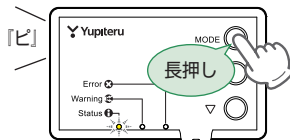
※ 確認のために無理な運転はしないでください。交通事故やケガの原因となります。

3-1 車両を移動する



駐車車両の後ろに、車間距離検出範囲内の約20m付近に、自車を縦列に停車します。

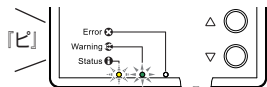
3-2 MODE ボタンを長押しする



- ・検出確認モードのLED表示の詳細は…
- P.18「検出確認モード」

検出確認モードになります。
Status ① のLEDが「緑点灯」→「黄点滅」になります。

3-3 検出確認をする



検出している間、Warning ② のLEDが「緑点灯」し、距離に応じた音程（距離が近いほど音程が高い）で、「ピ」とブザー音が鳴ります。

- ※ Warning ② のLEDが「緑点灯」でブザー音が鳴らない場合は、検出できていません。ナットを緩めて本体の向きを調整（● P.22「手順1-3～1-5」）し、再度ガラス補正（● P.26）を行ってください。
- ※ 検出確認をキャンセルする場合は、MODE ボタンを長押ししてください。ガラス補正モードになります。（● P.16）

4. 電源 OFF する

本機は、エンジンに連動して電源 OFF します。

4-1 車両のエンジンを切る

全てのLEDが消灯し、電源 OFF になります。

設定を変更する

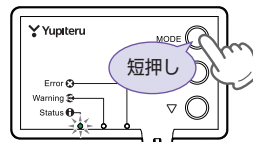
※ 設定項目の一覧は、● P.31「設定項目一覧」を参照ください。

1. 警報音を変更する

※ 初期値は、「音声1」です。

1-1 運用モードに切り替える（● P.16）

1-2 警報音を変更する



MODE ボタンを短押しするたびに、「音声1（危ない）」→「音声2（あぶない）」→「ブザー音（ピピピピピー）」の音声を出し変更していきます。（● P.31「警報音」）

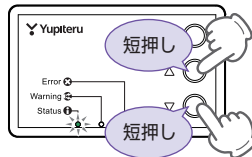
2. 音量を変更する

※ 初期値は、「中」です。

2-1 運用モードに切り替える（● P.16）

※ 検出確認モードでも音量を変更できます。

2-2 音量を変更する



ボタン	機能
△	音量アップ
▽	音量ダウン

△▽ボタンを短押しで音量を変更してください。(☛ P.31「音量」)

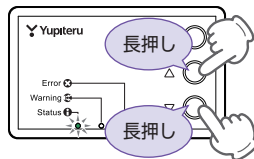
3. 検出感度を変更する

検出感度が高いほど、各種危険性を早いタイミングでお知らせします。

※ 初期値は、「中」です。

3-1 運用モードに切り替える (☛ P.16)

3-2 検出感度を変更する



ボタン	機能
△	感度アップ
▽	感度ダウン

△▽ボタンを長押しで検出感度を変更してください。(☛ P.31「検出感度」)

変更するたびに下記のブザー音が鳴ります。

- ・ OFF(非検出) …… 「ブー」
- ・ 低(鈍感) …… 「ピ」
- ・ 中 …… 「ピ・ピ」
- ・ 高(敏感) …… 「ピ・ピ・ピ」

※ 検出感度が「OFF」の場合、Warning ③のLEDは「青点灯」になります。

設定項目一覧

設定

警報音

各種危険性をお知らせする警報音を設定します。(☛ P.29)

音声 1	通常 Ver.(標準語)の音声でお知らせします。
音声 2	可愛い Ver.(可愛い声)の音声でお知らせします。
ブザー音	ブザー音でお知らせします。

※ 警報音の詳細は「警報音一覧(☛ P.18)」を参照ください。

※ 初期値は、「音声 1」です。

音量

警報音や操作音の音量を「小(最小)」「中」「大(最大)」の3段階で設定します。「OFF(消音)」に設定することもできます。

※ 「OFF」に設定した場合、警報音や操作音は鳴りません。

※ 初期値は、「中」です。

検出感度

各種危険性を検出する感度を「低(鈍感)」「中」「高(敏感)」の3段階で設定します。「OFF(非検出)」に設定することもできます。

※ 「OFF」に設定した場合、各種危険性をお知らせしません。

※ 初期値は、「中」です。

エラー表示一覧

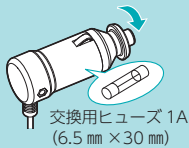
Error ☒	説明
赤点滅 (高速)	ガラス補正が完了していない。(測定無効)
青点灯	電源 ON 後のセンサースタンバイ中。(測定無効) ※ 電源 ON 時、前方に障害物(建物の壁や車両など)がある場合、センサースタンバイが完了しないことがあります。そのような場合は、障害物がない場所へ車両を移動させるとセンサースタンバイが完了します。
緑点滅 (低速)	ワイパー作動中。(測定無効)
黄点滅 (低速)	本体高温による動作停止中。

故障かな?と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

電源が入らない

- シガープラグコードが外れていませんか。
- シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良を起こしていませんか。
シガープラグコードを 2、3 回左右にひねりながら差し込み直してください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。
シガープラグコードの先端を矢印の方向に回しヒューズを取り出します。



電源が切れない

- シガーライターソケットの電源が、エンジン ON/OFF と連動して入 / 切れない車両があります。
このような車両では、エンジン OFF でも、シガーライターソケットに電源が供給され続けますので、シガープラグを抜いてください。

各種危険性をお知らせしない

- 検出感度の設定が「OFF」になっていませんか。
検出感度の設定が「OFF」の場合、各種危険性をお知らせしません。検出感度を「OFF」以外に変更してください。(●P.30)
- 音量の設定が「OFF」になっていませんか。
音量の設定が「OFF」の場合、警報音は鳴りません。音量の設定を「OFF」以外に変更してください。(●P.29)
- フロントガラスが赤外線カット仕様ではありませんか。
自車のフロントガラスが赤外線カット仕様の場合、本機は使用できない場合があります。
- 本体が異常に熱くなっていませんか。
動作温度範囲以上に本体が熱くなった場合、動作を停止します。
- 信号待ちの時間が短くありませんでしたか。
スタートインフォメーションは先行車両がいる状態で、約 5 秒以上停車し、先行車両が発進しても自車が停車したままの場合にお知らせします。(●P.14)
- ガラス補正後、本体の向きが変わっていませんか。
ナットを緩め本体の向きを調整(●P.22[手順 1-3~1-5])し、再度ガラス補正(●P.25)を行ってください。

前方に車両がないのに警報音が鳴る

- ガードレールや道路のリフレクターなどを検出した場合でもお知らせすることがあります。
- 本体のすぐ下に物を置いたり、手をかざした場合、誤報や失報することがあります。
- 正しく検出できていますか。
検出確認モード(●P.26)にて、先行車両の検出状態をブザー音で確認することができます。前方の状況と、このブザー音の状態が合わない場合(先行車両がいるのに反応しない、先行車両がいるのに反応する)、ナットを緩め本体の向きを調整(●P.22[手順 1-3~1-5])し、再度ガラス補正(●P.25)を行ってください。
- ガラス補正後、本体の向きが変わっていませんか。
ナットを緩め本体の向きを調整(●P.22[手順 1-3~1-5])し、再度ガラス補正(●P.25)を行ってください。

仕様

電源電圧	DC12V(マイナスアース車専用)
消費電流	120mA 以下
最大検出距離	最大 30m
動作温度範囲	0°C ~ +60°C
外形寸法	74(W) × 45(H) × 35(D)mm(突起部含まず) ※ 取付ブラケット (テープ貼付) 装着時77(H)mm (窓ガラス 25° 想定の場合)
重量	約 47g

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は弊社ホームページにてご確認ください。

<http://www.yupiteru.co.jp/>

アフターサービス

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体 (消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご購入ご購入各品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。

※ 点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日
(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

故障相談や取扱方法に
関するお問い合わせ



0120-998-036